Live chat and phone support will close at 5pm EST on 12/24/25 and reopen at 5am EST on 12/26/25.

Help Center

Help

5

All campaigns

202512KeMCo

sent

View report

Campaign Preview HTML Source Plain-Text Email Details

View this email in your browser

Ke
M
Co

『仔馬』、慶應義塾幼稚舎

撮影：村松桂(株式会社カロワークス)

展覧会「慶應義塾ミュージアム・コモンズ×飯沼観音圓福寺　嵯峨本の誘惑：豪華活字本にみた夢」が好評のうちに閉幕し、気づけばすっかり年末です。お正月の足音もすぐそこまで…お正月といえば新春展。2026年の干支の、あの動物の足音も聞こえて参りました。

【閉幕】慶應義塾ミュージアム・コモンズ×飯沼観音圓福寺
嵯峨本の誘惑：豪華活字本にみた夢

撮影：村松桂(株式会社カロワークス)

「嵯峨本の誘惑：豪華活字本にみた夢」は、11月28日（金）をもって閉幕しました。
雲母刷りや色替えが施された料紙、手書きと見まがうような精巧な活字で作られた、あまりに美しい嵯峨本。見ていると、一冊一冊をいとおしみながら作った作り手の気持ちが伝わってくるようでした。
嵯峨本と古活字版研究の最前線を紹介した本展。展覧会は終了しましたが、嵯峨本は、その美しい姿と魅力的な謎をもって、私たちを誘惑し続けます。 ご来場いただいたみなさまに厚くお礼を申し上げます。

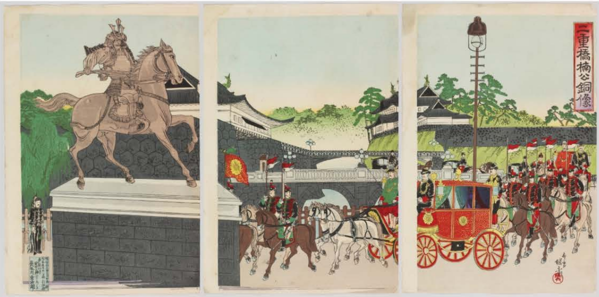
嵯峨本の誘惑：豪華活字本にみた夢

ウェブサイトにてカタログ公開中

好評につき、展覧会でのカタログ配布は終了しましたが、ウェブサイトでカタログを公開しています。ぜひご覧ください。

「嵯峨本の誘惑：豪華活字本にみた夢」展覧会カタログ

【次回展】KeMCo新春展2026「馬の跳ねる空き地」



二重橋楠公銅像、楊斎延一画、1899年、ボン浮世絵コレクション、慶應義塾図書館

2026年の干支は「午（うま）」。古来より、馬はその力強さ、美しさによって、移動・輸送から狩猟・農耕、娯楽まで、さまざまな場面で文明の発展を支えてきました。新年の幕開けを飾る本展覧会では、慶應義塾の多様なコレクションから、馬にまつわる稀覯本、絵巻物、浮世絵、埴輪など多様な作品を一堂に集め、馬と人との永い関係をたどり、改めてその魅力に迫ります。
また、特別企画として、慶應義塾ゆかりのさまざまな芸術家が手掛けた、慶應義塾幼稚舎内雑誌『仔馬』の表紙原画もあわせてご紹介いたします。

KeMCo新春展2026「馬の跳ねる空き地」
会期｜2026年1月8日（木）－2月7日（土）
特別開館｜ 1月10日（土）、24日（土）、2月7日（土）
臨時休館｜ 1月10日（土）、24日（土）、2月7日（土）
会場｜慶應義塾ミュージアム・コモンズ展示室（三田キャンパス東別館）
入場｜無料、予約不要

主催｜慶應義塾ミュージアム・コモンズ
協力｜慶應義塾大学アート・センター、慶應義塾大学医学部漢方医学センター、慶應義塾大学信濃町メディアセンター、慶應義塾大学日吉メディアセンター、慶應義塾大学文学部古文書室、慶應義塾大学文学部美学美術史学専攻、慶應義塾大学文学部民族学考古学専攻、慶應義塾大学附属研究所斯道文庫、慶應義塾大学三田メディアセンター、慶應義塾福澤研究センター、慶應義塾幼稚舎、公益財団法人 常盤山文庫（2025年12月4日現在）

ギャラリートーク（要事前申し込み）
学芸員によるギャラリートークを行います。12月10日（水）正午より、展覧会ウェブサイトにてお申込みを受け付けます。
（定員25名程度、先着順、事前お申込みの方優先）
日時｜1月10日（土）14:00－14:40

KeMCo新春展2026「馬の跳ねる空き地」

【12/10～12/23】KeMCo Staircase Lab.「あとひとつ」

FKLAB
SURVEYED
46
KEMCO

加藤文俊研究室×KeMCo Staircase Lab.「あとひとつ」
https://fklab.net/46/

ふとしたきっかけで、全国をめぐるフィールドワークがはじまり、白地図を塗りながら20年。のべ1200人くらいの学生たちとともに、いろいろな場所に出かけました。くわえて、逗留先で出会ったみなさんが、ざっと勘定しても400人くらいはいるはずなので、じつに多くの人とのかかわりのなかで、フィールドワークがかたどられてきたことになります。残すは生まれ故郷の京都府のみ。ずいぶん時間がかかりましたが、野暮天に、辞めずに続けていれば、その日はかならずやって来ます。少しずつ積み重ねてきたからこそ見える景色があります。
「あとひとつ」のところで、これまでの歩みをふり返る機会をいただきました。師走の慌ただしいなかですが、ぜひおはこびください。

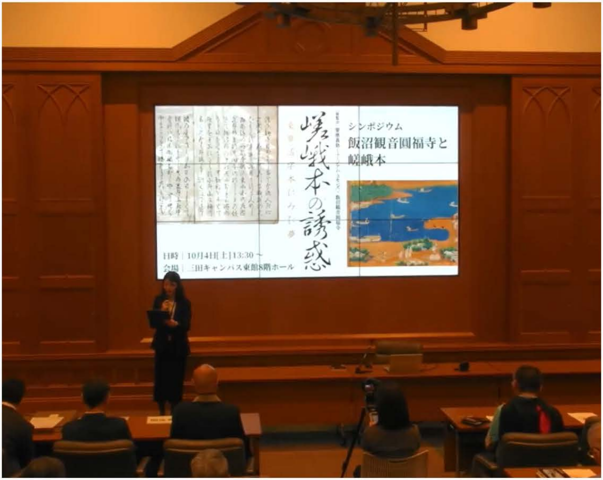
KeMCo Staircase Lab.
Staircase Lab.は、慶應義塾の教員とその教員が指導する学生たちとのコラボレーションを通じて、さまざまな人々をミュージアムの活動との関わりに接続するKeMCoの実験企画です。それぞれの専門領域における教育・研究実践をミュージアムのなかで展開することで、実践をより深めたり、新たな気づきを得ることを目指しています。
本企画の第3弾として、慶應義塾大学環境情報学部　加藤文俊研究室と共同しました。

慶應義塾大学環境情報学部　加藤文俊研究室　https://fklab.today/

KeMCo Staircase Lab.「あとひとつ」

ご寄付のお願い

Feedback


シンポジウム
飯沼観音圓福寺と嵯峨本
嵯峨本の誘惑
日時｜10月4日[土]13:30～
会場｜三田キャンパス東館8階ホール

展覧会では講演会やギャラリートーク、ワークショップ等関連イベントを企画・開催しており、多くの方々にご参加いただけるよう無料で開催しています。

KeMCoでは大学の貴重な文化コレクションを公開する企画展覧会を年に4回開催しています。展覧会は、たくさんの方に何度でも作品を見ていただくために、すべて無料で公開しています。
一方で、物価高騰の中で、展覧会開催の経費は増大しています。
KeMCoでは、大学ミュージアムとして、誰もが文化にアクセスできる社会を支えるべく、みなさまのご支援を得て、現在のありかたを継続していきたいと考えています。
KeMCoの展覧会活動の継続のために、みなさまからの温かいご支援をいただきたく、どうぞよろしくお願い申し上げます。

詳細とご寄付の方法は以下ウェブページをご覧ください。
皆様からの温かいご支援をどうぞよろしくお願い申し上げます。

ご寄付のお願い

Open Storage! #09

今年４月より学生学芸スタッフとして活動に携わり、早くも半年以上が経ちました。様々な業務を経験する中で最近力を入れたのが、作品を展示する際に作品を保護したり、見栄えを良くしたりするために必要とされる物品の管理です。具体的には、「マット」と「什器」の登録作業を実施しました。

「マット」とは浮世絵や版画といった紙の脆い作品を挟み込むための、絵柄の部分だけ窓の空いた厚紙のようなものです。額に直接作品を入れるのは作品の表面を傷つけるので、マットで挟み込むことで作品を固定し、表面を守ります。今回は、今年6月に開催した展覧会「夢みる！歌麿、謎めく？写楽—江戸のセンセーション」で実際に使用したマットを中心に、一枚ずつ計測しました。絵柄が出る窓枠の内寸は作品によって全く異なるので、計測作業は意外に根気がいります。そして、マットごとに管理番号を付し、その大きさとそれに合致する作品をデータ上で記録することで、今後の展覧会にも活用していきます。

「什器」とは、辞書上「日常使用する器具・家具類」と表記されますが、ミュージアムでは作品を載せる土台を指します。要するに、展示台、アクリルケース、額、書物などを飾る傾斜台・小台といったものです。データ上では、什器ごとに管理番号を振り、その名称や用途、大きさ、台数などを記録します。これにより、展覧会ごとに作品を展示するのに適した什器を選び出し、なければ必要に応じて新たな什器を発注するという体制を整えています。

これらの地道な作業が展覧会を支える大事な一部であると知ってもらえたら嬉しいです。展示室を降りて２階のオープン・デポを覗くと、たまに作業の様子が見学できます。

居椿尚（KeMiCo）

空き地

みなさまは、NHKの大河ドラマはご覧になっていますか？

展覧会「嵯峨本の誘惑：豪華活字本にみた夢」をもって、2025年に開催を予定していた展覧会がすべて閉幕しました。今年の展覧会は、特に日本美術や文化・歴史、中でも「出版」や「書物」を主題とし、今年の大河ドラマ「べらぼう～蔦重栄華乃夢噺～」を意識した資料を多くご紹介しました。

3～5月に開催した展覧会「書物ハンターの冒険」では、数々の規制をともなう寛政の改革を行った厳格な老中…というイメージとともに語られる松平定信の文化人としての側面を、松平定信旧蔵品から紹介しました。6～8月に開催した「夢みる！歌麿、謎めく？写

楽」は、数年前にさかのぼる企画の時点から大河ドラマを意識していた展覧会です。いざ開幕すると、偶然にも大河ドラマの展開と重なる部分もありました。そして、閉幕したばかりの「嵯峨本の誘惑：豪華活字本にみた夢」では、かつて嵯峨本とみなされてきた『源氏物語』を特集したコーナーを設けました。美しすぎる書物と物語に、昨年の大河ドラマ「光る君へ」の思い出に浸った…というアンケートのご意見もいただきました。展覧会が、大河ドラマをより楽しむための仕掛けとなっていましたら幸いです。
さて、最終回まで残り2回となった「べらぼう」は、ライバル同士だった蔦重と松平定信が手を組んだ（組まされた？）まさかの展開。「栄華乃夢噺」はどのような終わりを迎えるのか、楽しみですね。

眞下菜穂（KeMCo）

お知らせ

三田キャンパスでご覧いただける展示

2025年度秋季企画展「北沢楽天と近代日本––福澤諭吉、MANGAの扉をひらく––」
10月16日（木）～**12月13日（土）**
会場：福澤諭吉記念 慶應義塾史展示館

SHOW-CASE PROJECT Extra-2　冨井大裕　接点の都合
10月14日（火）～**12月19日（金）**
会場：慶應義塾大学アート・センター

第369回企画展示「資料が奏でる音の世界～遠山音楽文庫40年記念～」
10月27日（月）～**12月20日（土）**
会場：慶應義塾図書館（三田メディアセンター）1階展示室

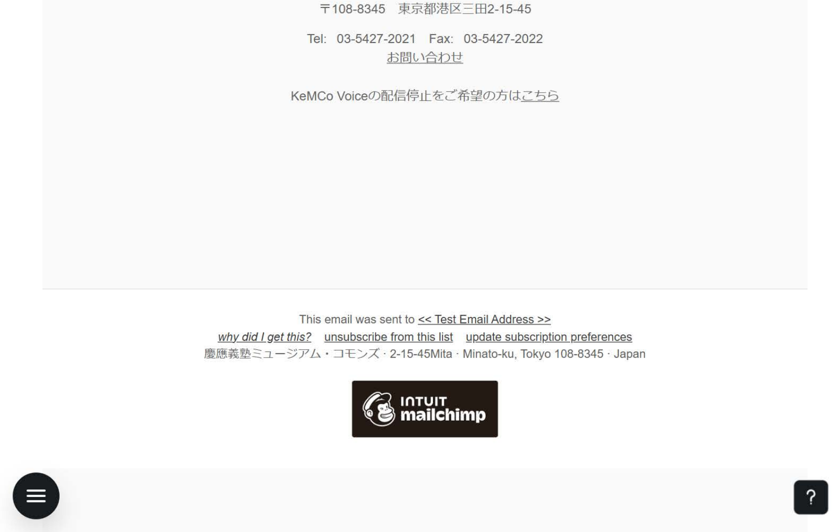
KeMCo Voiceでは皆様のご意見・ご感想を募集しております

KeMCo Voiceやミュージアム・コモンズへご意見・ご感想がございましたら、以下のアドレスまでお寄せいただければ幸いです。
いただきましたご意見は匿名でご紹介させていただく場合がございます。紹介をご希望でない場合はその旨をお書き添え下さい。

> ご意見・ご感想はこちら

次回のKeMCo Voiceは2026年1月に配信予定です。
過去のニュースメールはこちら

Copyright © 2019-2025 慶應義塾ミュージアム・コモンズ　Keio Museum Commons



〒108-8345　東京都港区三田2-15-45

Tel:　03-5427-2021　Fax:　03-5427-2022
お問い合わせ

KeMCo Voiceの配信停止をご希望の方はこちら

This email was sent to << Test Email Address >>
why did I get this?　unsubscribe from this list　update subscription preferences
慶應義塾ミュージアム・コモンズ · 2-15-45Mita · Minato-ku, Tokyo 108-8345 · Japan